

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 【新】 関ヶ原古戦場持続可能化事業費補助金（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

観光文化スポーツ部 観光資源活用課 電話番号：058-272-1111(内3935)
関ヶ原古戦場活用推進室 活用推進係 E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 60,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	60,000	20,571	0	0	0	0	0	0	39,429
決定額	60,000	20,571	0	0	0	0	0	0	39,429

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

国内外に高い知名度を誇る唯一無二の関ヶ原古戦場を、戦国・武将をテーマとした広域周遊観光の核として整備し、観光資源として磨き上げを図る。

そのため、関ヶ原町が実施する関ヶ原駅周辺環境整備、笹尾山周辺整備、観光受入環境整備、誘客PR、特産品開発、海外古戦場との連携など、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組を支援する。

（２）事業内容

関ヶ原町が実施する「関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組」に要する経費の一部を助成する。

【補助対象経費】

関ヶ原町が実施する受入環境整備、誘客PR、拠点整備、特産品開発、海外古戦場との連携など、関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組に要する経費

【補助対象者】

関ヶ原町

【補助率・補助限度額】

- 補助率 県2/3、町1/3
- 県補助限度額 予算の範囲内

（３）県負担・補助率の考え方

唯一無二の関ヶ原古戦場を核とした戦国・武将観光の推進は、「清流の国ぎふ」創生総合戦略」において「世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり」の主な施策に位置づけられており、県として重要度が高いことから、県補助率を2/3とする。

（４）類似事業の有無

有

ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金

（本事業との役割分担）

本補助金が関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組を行う関ヶ原町を支援するのに対し、ストーリーでつなぐ岐阜県観光推進補助金では、戦国武将を含む地域資源を活用した市町村の観光振興の取組を支援するものである。

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	60,000	関ヶ原古戦場の整備活用に必要な経費に対する助成
合計	60,000	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

３ 地域にあふれる魅力と活力づくり

（２）次世代を見据えた産業の振興

④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

（２）国・他県の状況

国の観光立国推進基本計画においても、地方誘客に効果の高いコンテンツの整備として、歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進が提示されている。

（３）後年度の財政負担

県内の戦国・武将観光の核である関ヶ原古戦場の観光地域づくりの一環であり、今後も継続する。

（４）事業主体及びその妥当性

関ヶ原古戦場整備は、県と関ヶ原町が一体となって策定した「関ヶ原古戦場グランドデザイン」（H27年3月）に基づき進めてきた事業であり、県補助は妥当。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	関ヶ原古戦場持続可能化事業費補助金
補助事業者（団体）	関ヶ原町 （理由） 史跡関ヶ原古戦場周辺の整備と活用に向けた取組を支援するものであることから、国指定史跡の所在する関ヶ原町に限定される。
補助事業の概要	（目的） 関ヶ原古戦場を広域周遊観光の核として整備すべく観光資源として磨き上げを図る。 （内容） 関ヶ原古戦場の整備と活用に向けた取組に要する経費の助成
補助率・補助単価等	定率 （内容） 県2/3 （理由） 県補助率を2/3とし、受益者負担を求める。
補助効果	関ヶ原古戦場が広域周遊観光の核として整備される。
終期の設定	終期 令和10年度 （理由） 地域未来交付金を活用することから、交付金の計画終期に同じ。

(事業目標)

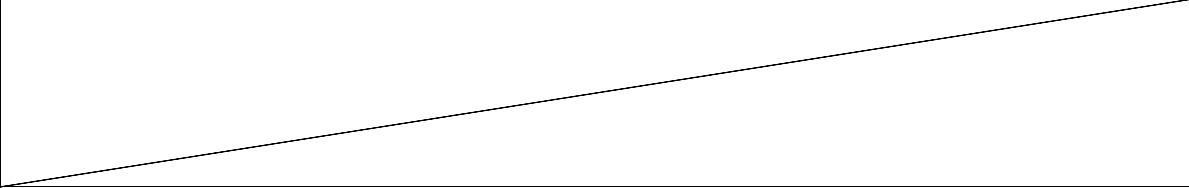
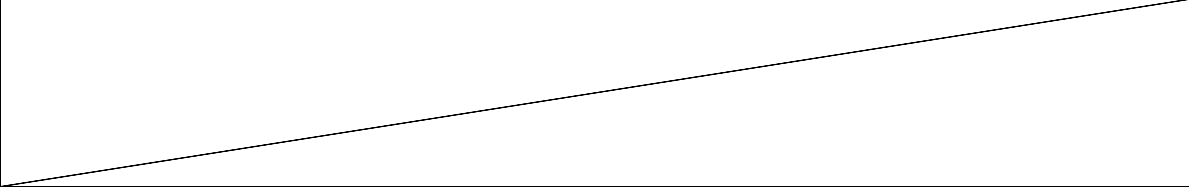
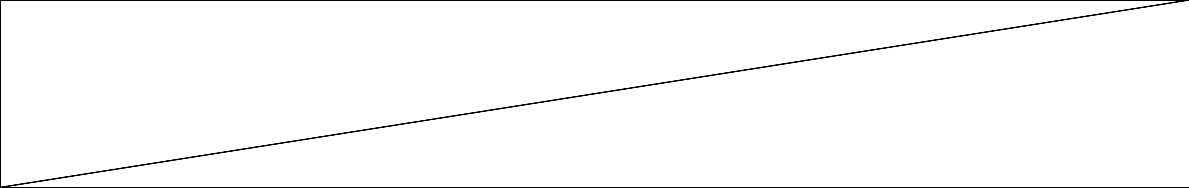
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>関ヶ原古戦場への来訪客数を令和10年までに33万人に増加させる。</p> <p>※基準値：25万人（令和6年）</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

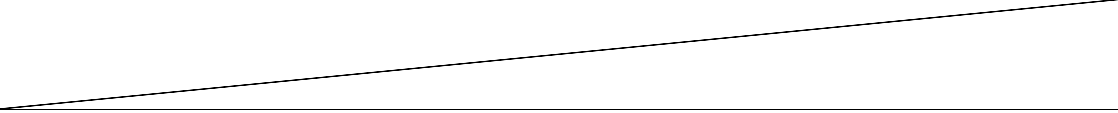
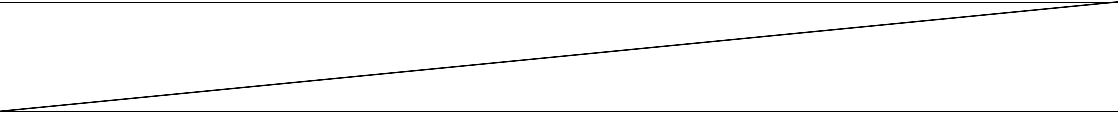
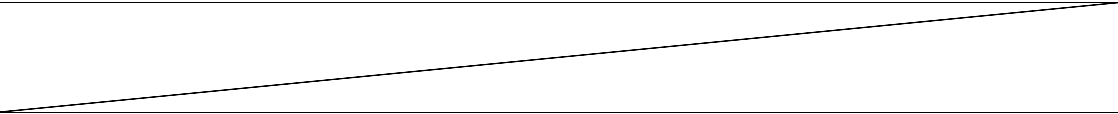
指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
① 関ヶ原古戦場 来訪客数		30万人	30万人	30万人	33万人	90.9%

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度

(これまでの取組内容と成果)

令和3年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 史跡や受入環境の整備はある程度進展したものの、未だ道半ばであり、戦国・武将観光の核として今後も関ヶ原古戦場の磨き上げが必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国内外に高い知名度を誇る関ヶ原古戦場を核として、戦国・武将をテーマとした広域周遊観光を実現するため継続した支援が必要。
